

ボランティアなんて 偽善だ

そう思っていた。
あの日、僕らの道が
交差するまで——。

クロスロード

Crossroads

青年海外協力隊、救われるのは誰だ——

黒木啓司 (EXILE) 飯伏幸太 山本未來 加藤雅也 (友情出演) 渡辺大 TAO 榎原み 長塚京三

主題歌：中島みゆき「ヘッドライト・テールライト」(ヤマハミュージックコミュニケーションズ)

プロデューサー：榎井一貴 キャスティングプロデューサー：福岡康裕
監督：岩間浩之 脚本：佐藤あいつ 音楽：MOKU 撮影監督：長田勇市 (J.S.C) 美術：西沢和幸 録音：藤原泰隆 編集：VFX 人見雄太郎 宣伝プロデューサー：島谷裕
制作担当：辻智 制作デスク：横野友紀子 プロデューサー：楠：菅沼公明 バリシティ担当：長友清隆 海外コーディネーター：飯野真穂子
後援：国際協力機構 (JICA) 特別協賛：ANA Nikon mont-bell 特別協力：LDH 八大コーポレーション 東京ビジュアルアーツ
製作：「クロスロード」製作委員会 (青年海外協力協会/フレッシュハーツ) 製作：「クロスロード」製作委員会 (青年海外協力協会/フレッシュハーツ)
http://crossroads.toeiad.co.jp/ ©2015 クロスロード 製作委員会

11.28 (SAT)
ROADSHOW

本音でぶつかり合う 青年海外協力隊員たちを描く 爽快な感動作!

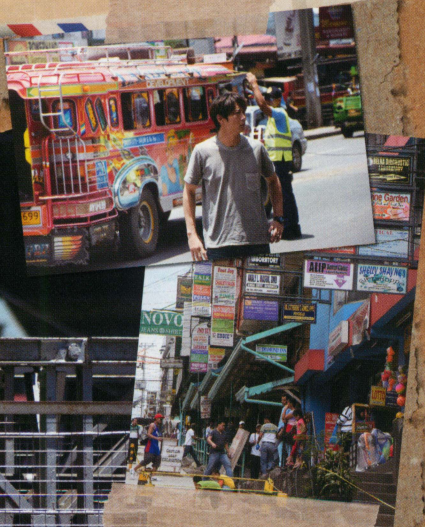
EXILEの黒木啓司、
待望の映画主演デビュー作!

“理想でもきれいででもない”まさに今のリアルな青年海外協力隊員たちを描いた青春グラフィティが誕生した。監督は、『マリリンに逢いたい』『秋桜』のすずきじゅんいち。シナリオコンテストで大賞に選ばれた作品を基に脚本・脚本監修を務めるのは、『闇金ウシジマくん』『映画 ひみつのアッコちゃん』の福岡正浩。協力隊経験を持つふたりが強力なタッグを組み、『君が踊る、夏』『明日に架ける愛』の映画監督 香月秀之がプロデュースした。主演はEXILEの黒木啓司。ボランティア活動に懐疑心を抱く隊員、沢田樹を演じ、本作が映画主演デビューとなる。共演は善意の境のような羽村和也隊員を演じる渡辺大。また、対立する二人の仲を取り持つ野村志穂隊員役に、人気ファッションモデルで、ハリウッド女優でもあるTAO。沢田がフィリピンで出会うアンジェラ役に世界的に有名なコスプレイヤー、アロー



産まれ来る命を救う

ディア。さらに、訓練所の名物所長、境頭二役に演技派の長塚京三。隊員たちが現地の人や仲間との交流を通して成長していく姿が胸を打つ。
「2005年・フィリピンのバギオ」「2015年・岩手」と時間と空間が交差した道程に待つ感動のラストとは――?

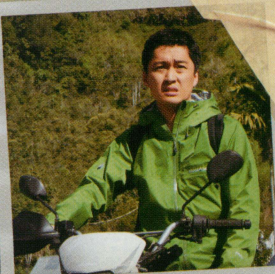
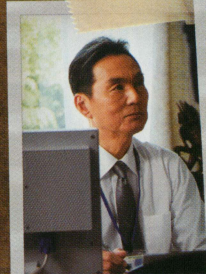


Story

カメラマン助手になったものの、目標の見えない日々を過ごしていた沢田(黒木啓司)は、自分を変えようと青年海外協力隊に飛び込む。だが、訓練所でもボランティア精神を地で行く羽村(渡辺大)と対立したり、規則を破ったりと、何かと問題を起こしてしまう。彼らの仲を取り持つ助産師隊員の志穂と共に、フィリピンに派遣される二人。沢田は観光省での仕事に不満を抱くが、羽村は失敗しながらも田舎の村でドジョウの養殖を順調に進めていく。そんな優等生タイプの羽村を沢田が好きになれないのは、反発していた亡き父の面影を見るからだ。ある日、野心的な写真を撮ろうとバギオの街を訪れた沢田は、少年ノエルと姉のアンジェラと出合い、この国の現状に胸を痛めるが、無力感のうちに帰国する。それから8年、協力隊での体験は二人をどう変えたのか? 震災後の東北での久しぶりの再会に思わぬ答えが待っていた――



1枚の写真でも世界は変わる



現地の人が自立できる世界を作る

「青年海外協力隊とは」

青年海外協力隊は、日本政府の政府開発援助(ODA)の一環として、独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施するボランティア事業です。アジアやアフリカ、中南米などの開発途上国から寄せられる要請に基づき、それに見合った技術・知識・経験を「現地の人のために役立てたい」と望む20歳から39歳の青年を協力隊員として2年間派遣します。事業開始の1965(昭和40)年から今年で50年を迎え、これまでに隊員が派遣された国は88か国、隊員総数も延べ40,428名[※]に上ります。

※2015年6月30日時点の数 / JICA青年海外協力隊事務局データによる

11.28(SAT) ROADSHOW

「クロスロード」公式HP



<http://crossroads.toeid.co.jp/>